

2023年度  
なごや環境大学  
活動報告書

2023.4～2024.3



発行/「なごや環境大学」実行委員会

発行年月/2024年5月

問い合わせ先/「なごや環境大学」実行委員会 事務局

〒460-0008

名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階  
(名古屋環境学習センター エコバルなごや内)

TEL・FAX 052-223-1223 Eメール/jimu@n-kd.jp

ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>



# 「なごや環境大学」実行委員会

(敬称略・2023年2月1日現在)

名誉委員長	河村たかし	名古屋市長
委員長	杉野みどり	名古屋市副市長
学長	水野 明久	一般社団法人 中部経済連合会 会長

実行委員	浅井 秀子	名古屋市保健環境委員会 会長
	伊藤 和子	名古屋市地域女性団体連絡協議会 会長
	杉浦 尚久	名古屋市区政協力委員議長協議会 議長
	岸田 眞代	岸田パートナーシップ研究所 代表
	小坂 信之	環境パートナーシップ・CLUB 総合事務局長
	杉野 実	M1_Project デザインプロデューサー
	坪井 明治	名古屋市商店街振興組合連合会 理事長
	長谷川明子	ピオトープ・ネットワーク中部 会長
	松本イズミ	NPOフィットラボ 代表
	鶴飼 宏成	名古屋市立大学大学院 経済学研究科 教授
	大鹿 聖公	愛知教育大学教育学部 教授
	九里 徳泰	相模女子大学学芸学部 英語文化コミュニケーション学科 教授
	鈴木慎太郎	愛知学院大学法学部 教授
	千頭 聡	日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授
	前田 洋枝	南山大学総合政策学部 教授
	横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構 経営学部 客員教授
	武田 淳	名古屋市総務局 企画調整監
	高田 克己	名古屋市教育委員会 教育次長
	坂本 敏彦	名古屋市環境局 環境都市推進監
	平野 恵嗣	「なごや環境大学」実行委員会 事務局長／名古屋市環境局 環境企画部長

監事	加藤 明司	公認会計士
	吉田 茂	名古屋市会計室 次長

参 与	佐藤 航太	名古屋商工会議所 産業振興部長
	岸 英順	一般社団法人 中部経済連合会 社会実装推進部長
	香坂 玲	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	浅野 昌江	農林水産省東海農政局 生産部 生産技術環境課長
	小林 弘和	経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課長
	竹内 宏	国土交通省中部地方整備局 企画部 環境調整官
	鈴木 成幸	国土交通省中部運輸局 交通政策部 次長
	曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長
	足立 理恵	愛知県環境局環境政策部 環境活動推進課長

フェロー	井垣 理史	名古屋学芸大学 メディア造形学部デザイン学科 准教授
	上田 聡司	プラスチックアンドシー合同会社 代表職務執行者社長
	江坂恵里子	ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 プログラム・ディレクター
	加藤 美奈	株式会社Comodo LABO 代表取締役
	岸 晃大	環境省 中部地方環境事務所 名古屋自然保護官事務所
	楠美 順理	中京大学教養教育研究院 教授
	小出 恭司	名古屋市環境局資源化推進室
	小林 幸江	ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部 スーパーバイザー
	新海 洋子	一般社団法人 SDGsコミュニティ 代表理事
	須網 正人	名古屋市歯科医師会事務局
	曾我 幸代	名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 准教授
	竹内 恒夫	名古屋大学大学院環境学研究科 持続的共発展教育研究センター 特任教授
	辻 喜礦	液状化対策統括工法協会 会長
	中森 浩二	TIPTOP 代表
	野中 賢輔	なごや外来種を考える会 会長
	山口ゆずみ	特定非営利活動法人コンソーシアム有松 事務局長
	山田 厚志	一般社団法人愛知県建設業協会 理事



## 目次

はじめに.....	P1
学長メッセージ.....	P2
なごや環境大学って何？.....	P3
開学以降の講座等実績の推移と 2024 年度への展望 .....	P5
2023 年度の振り返りと次年度への展望～アンケート結果から～.....	P7
共育講座・共育ゼミナール.....	P10
2023 年度共育講座一覧（前期）.....	P11
2023 年度共育講座一覧（後期）.....	P13
2023 年度実行委員会主催事業・連携講座の一覧.....	P15
2023 年度事業報告.....	P17
持続可能な社会づくり～SDGs の達成を目指して～ .....	P19
なごや環境大学の歩み.....	P22
なごや環境大学運営協力者一覧.....	P27
2023 年度「なごや環境大学」実行委員会名簿.....	P28

なごや環境大学は、パートナーシップを軸に SDGs の達成を目指します。



SDGs とは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称です。



## はじめに



なごや環境大学は、分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民が「共に育つ（共育）」ことを目的とし、2005年に開学しました。現在では、持続可能な社会の担い手づくりの先進的事例として、広くその名を知られるようになりました。なごや環境大学の取り組みが全国的に評価されていることをうれしく思います。

これもひとえに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様や市民の皆様のおかげであり、心より感謝します。

なごや環境大学では、2022年12月に学長にご就任いただいた、水野明久学長のもとで、様々な事業を検討・展開しています。

2023年度は、昨今の持続可能な社会を目指す機運の高まりも踏まえ、時流に沿った環境テーマを取り上げた講座を企画してまいりました。愛知学院大学、中部大学と連携した人材育成講座「SDGs 普及啓発教育プログラム」を開催したほか、世界の新たな潮流となっているネイチャーポジティブの実現に向けたシンポジウムを開催し、大勢の方に参加いただきました。講座の中で様々な環境情報を発信し、参加者に環境への理解を深めていただく機会となりました。

名古屋市では、「なごや環境学習プラン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた人づくり・人の輪づくりを環境面から推進していくための取り組みを進めています。このプランの中では、「分野や主体、世代を超えた学び合い」が重要なキーワードとして挙げられています。

「共に育つ（共育）」を目的とし、様々な環境事業を実践するなごや環境大学の役割は益々高まっています。持続可能な社会の担い手づくりのためにも、引き続き様々な取り組みを進めてまいります。

今後とも、なごや環境大学を支えていただいている実行委員をはじめとする皆様のご支援とご協力をお願いします。

「なごや環境大学」実行委員会 名誉委員長  
名古屋市長 河村 たかし



## 学長メッセージ



2022年12月からなごや環境大学の学長を務めております水野です。

大気や水など基礎的な生活環境の保全はもとより、生物多様性の維持や気候変動、循環型社会の実現といった環境に関わる多くの課題は、一人ひとりのライフスタイルや経済・社会システムと深く関わっており、その解決にはあらゆる観点からの社会変革と全員参加型の活動が求められています。

企業にも環境課題解決への貢献が強く期待される中で、中部地域の産業界が業種業態を超えて環境負荷低減活動を進めるため、2000年に環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）を設立し、以降、企業が持っている教育ツールや施設を活用しながら次世代のための環境教育講座を実施しています。私自身2015年と2016年にEPOCの会長を務めていた際にも、なごや環境大学との連携を強く意識し講座を開催して参りました。

名古屋市においては2023年度に、「生物多様性なごや戦略実行計画2030」、「地球温暖化対策実行計画2030」及び「第6次一般廃棄物処理基本計画」と、環境問題の解決に向けた計画を相次いで策定・更新されております。

なごや環境大学としましても、高まる環境問題への危機感を共有しながら、市民・市民団体、企業、教育機関、行政などあらゆる関係者と一層強く連携し、多種多様な課題の解決と地域社会への貢献を目指して参ります。

また、これまで以上に「実行・実践」と「成果・効果」を心がけ、なごや環境大学の活動を充実させてまいりますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

「なごや環境大学」学長  
水野 明久

# なごや環境大学って何？

市民 / 市民団体 (NPO/NGO) ・ 企業 ・ 教育機関 ・ 行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

## 目的

「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的としています。

## 入学資格

〈エコ・ゴコロ〉だけです。

環境に関心のある、すべての人を歓迎します。子どもから大人まで、「環境問題はむずかしそうだ」という人も、「活動の輪を広げたい」という人も参加できます。

## 内容

### 協働による講座・ゼミナールなどの運営

#### 学ぶ！ 講座に参加する

楽しみながら学べる講座を多数ご用意しています。



#### 動かす！ ゼミナールで活動する

「なごやをもっとエコに！」と、さまざまな団体が活躍中！  
仲間と一緒に、新しいことにチャレンジしてみませんか？



#### 発信する！ 企画・運営する

あなたも、何か企画してみませんか？ 毎年6月と11月に 講座・ゼミナール (ゼミナールは11月のみ) の募集を行っています。  
初心者の方も、歓迎です。

※これまでの募集要項は常時ウェブサイトでご覧いただけます。

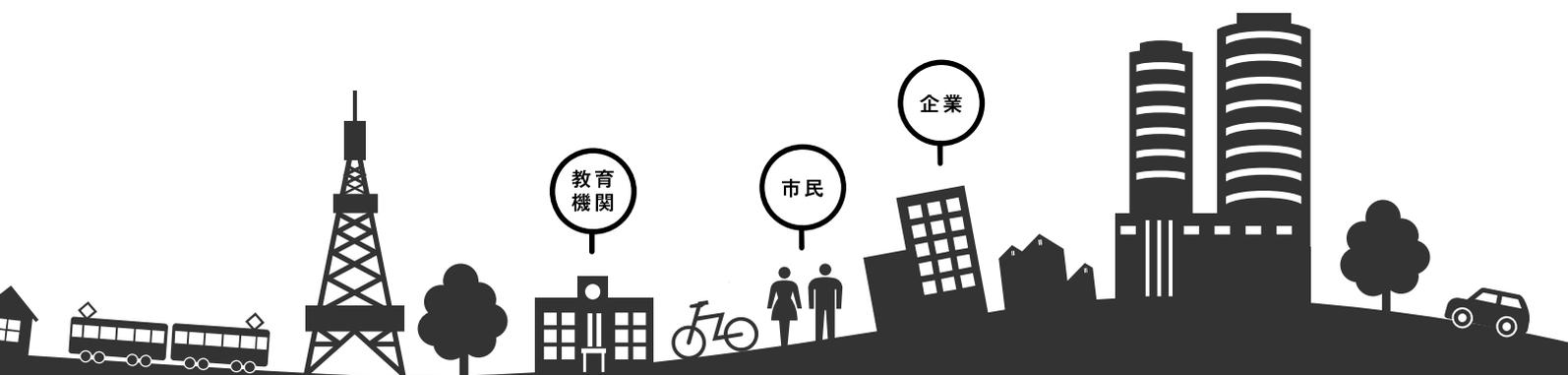


つながるエコ ひろがるハッピー!

## まちじゅうがキャンパス

里山や水辺…教室や工場も…どこでも実施!

詳しくはHPをチェック! <https://www.n-kd.jp/>



### ネットワークづくり

ひとつひとつ、団体と企業、行政や教育機関などそれぞれの得意分野や持ち味を活かし、大きな成功へと導く関係づくりを行います。

また、市民参画のプロジェクトによって、ひとつひとつをつなぎ、ムーブメントをつくりだします。異なる分野のひとの出会いの場を提供し、ひとの輪を広げます。

### 情報発信

多種多様な講座を紹介したガイドブックを年2回発行しています。

また、地球環境から身近な環境まで分かりやすくまとめた「なごや環境ハンドブック」を発行しています。

たくさんのひとが利用するソーシャルメディアやホームページ、大勢のひとが集うイベントなどを通じて誰もが参加、参画できる情報を発信しています。



### サポート／コーディネート

ネットワークを活かし、企業や行政、教育機関などのESD<sup>\*1</sup>活動（学習プログラム・研修プログラム・CSR<sup>\*2</sup>プログラム）の支援、関連団体などとの橋渡しを行います。

※1 ESD=Education for Sustainable Development の略 持続可能な社会を支える担い手づくり

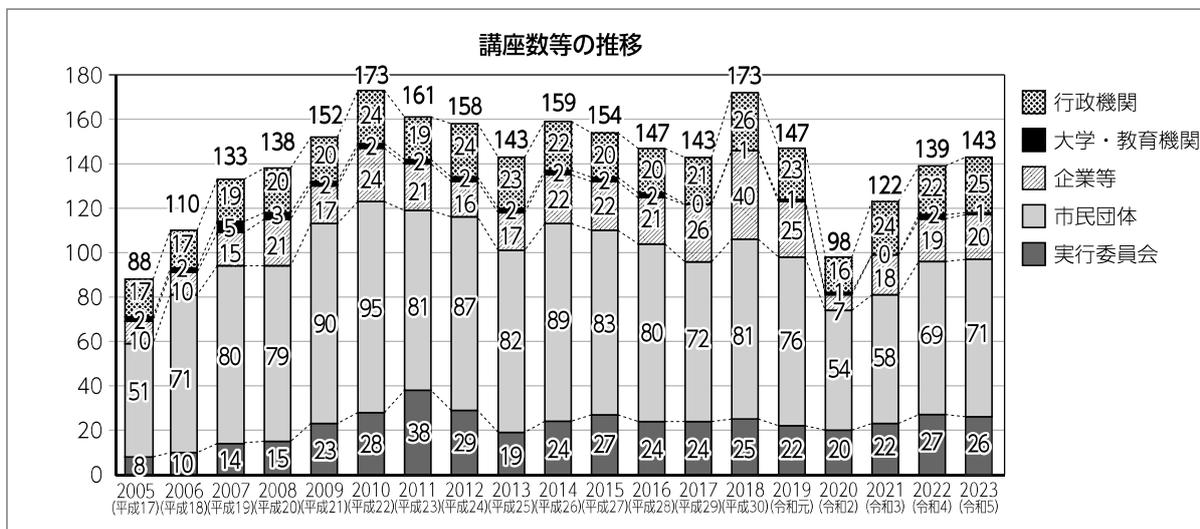
※2 CSR=Corporate Social Responsibility の略 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

# なごや環境大学 開学以降の講座等実績の推移と 2024年度への展望

## 講座等実績の推移

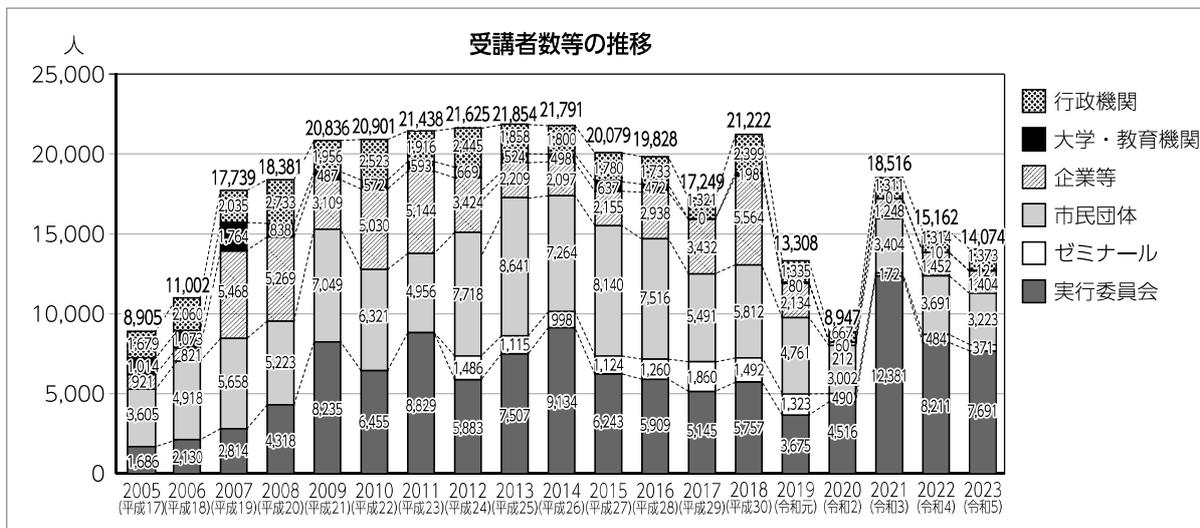
### 1. 講座数の推移

「なごや環境大学」実行委員会及び各企画団体が実施した2023年度の講座数は143講座で、概ねコロナ禍前の水準に戻っています。



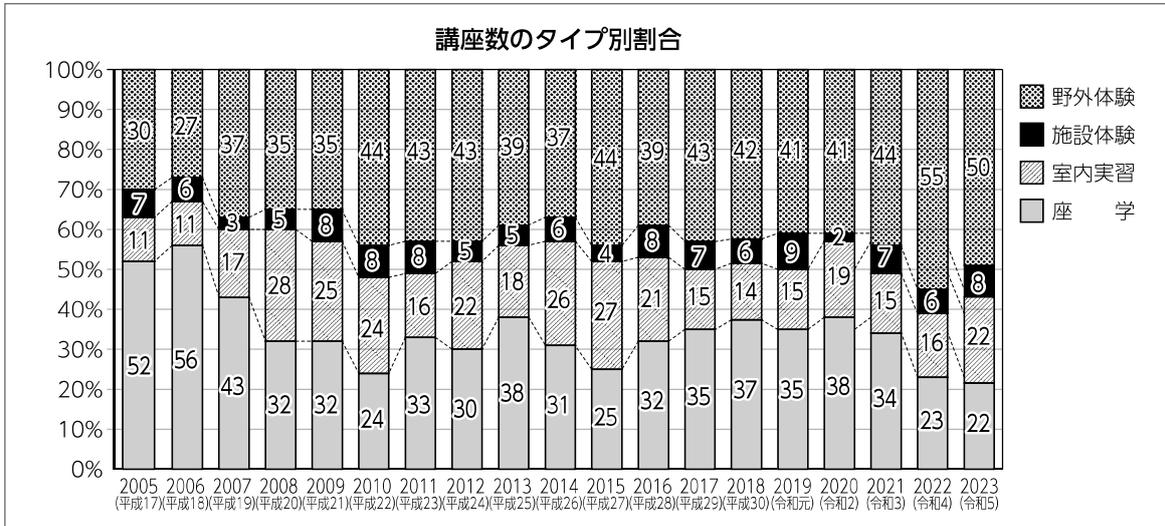
### 2. 受講者数等の推移

2023年度の受講者数は14,074人、企画団体別の内訳では、実行委員会が半数以上となっています。

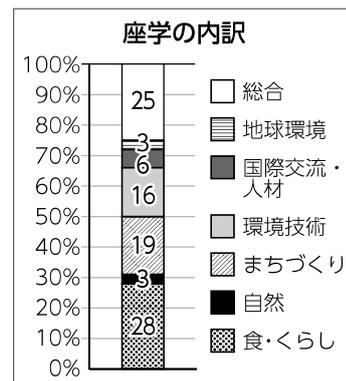
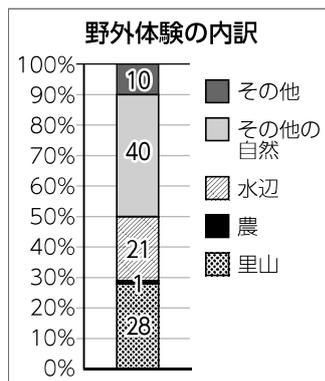


### 3. 講座数のタイプ別割合の推移

開学当初は座学が5割以上を占めていましたが、現在では座学は2割台程度で、野外体験、施設体験、屋内実習などの「体験・実習型講座」が主流です。

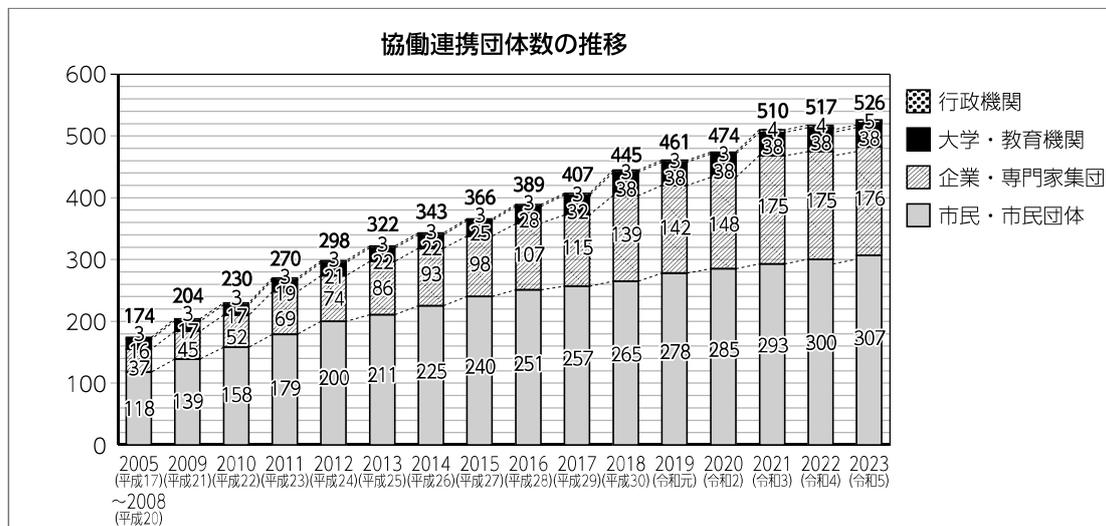


講座数のタイプ別割合は、野外体験が50%と最も多く、その内訳は、里山や農、水辺、その他の自然など、多岐にわたります。次に多い座学の内訳も、食・くらし、自然、まちづくり、環境技術、国際交流・人材、地球環境と広範囲です。



### 4. なごや環境大学を支える仲間たちの推移（累計）

なごや環境大学を支える講座企画団体や協働連携団体の累計は、2023年度で526団体となり、開学当時のおよそ3倍になりました。





# ■なごや環境大学 2023 年度の振り返りと次年度への展望

～なごや環境大学受講者及び  
講座主催団体へのアンケート結果から～

事務局次長 市橋 和宜

2023 年度に実施した各種講座及び小学生向け講座の受講者、講座企画者を対象としたアンケート結果から、なごや環境大学の活動の振り返りを行いました。

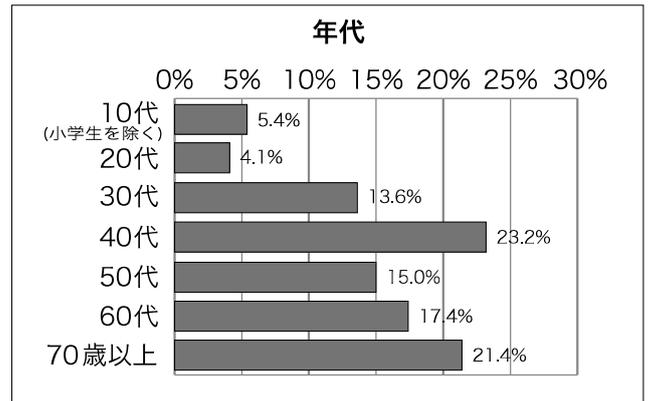
## 1. 各種講座受講者に関する集計結果

2023 年度に実施した講座の受講者の中から、小学生を除いて延べ 3,105 名のアンケート回答をいただきました。なお、それぞれの設問は、有効回答のみを集計しています。

### ●年齢

受講者の年代は「40代」が 23.2% と最も高く、次いで「70代以上」が 21.4%、「60代」が 17.4%、「50代」が 15.0% でした。「小学生を除く 10代」5.4%、「20代」4.1% と若い世代の比率が低くなっています。

今後は、未来を担う 10代、20代を中心とした若い世代の興味・関心を探りつつ、環境課題に参画できるような事業を検討していく必要があります。また、探求的な学び、キャリア教育等に資する取組みについても検討していきます。



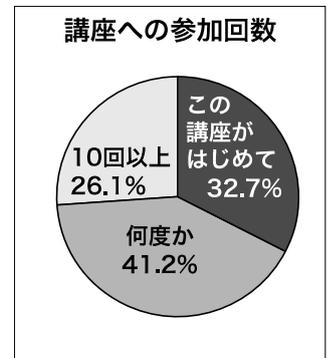
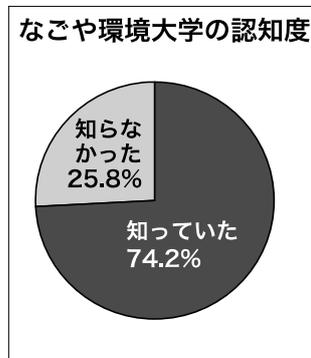
### ●在住・在勤地

受講者の在住・在勤地は名古屋市内 64.7%、愛知県内を含めると 90.5% でした。

### ●認知度と受講経験

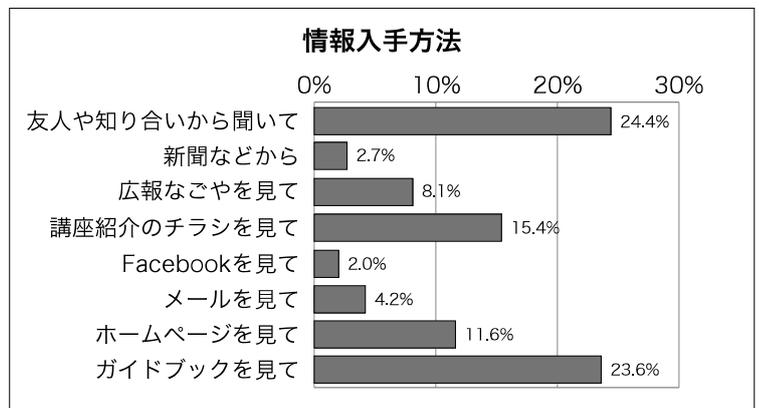
なごや環境大学の認知度について、受講者の 25.8% が「知らなかった」と回答されており、この比率は 2022 年度と比較して 4.7 ポイントの増加です。また、新規受講者である「初めて受講した」方は 32.7% と、引き続き 3 割程度であり、新規層への広がりが感じられます。

今後は、講座の開催形態が、従来の対面に加えオンラインによる開催など多様な形態が展開されていきます。これを踏まえ、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、また同時にリピーターにも継続して参加したくなるような講座の開設などに取組む必要があると考えられます。



### ●情報入手方法

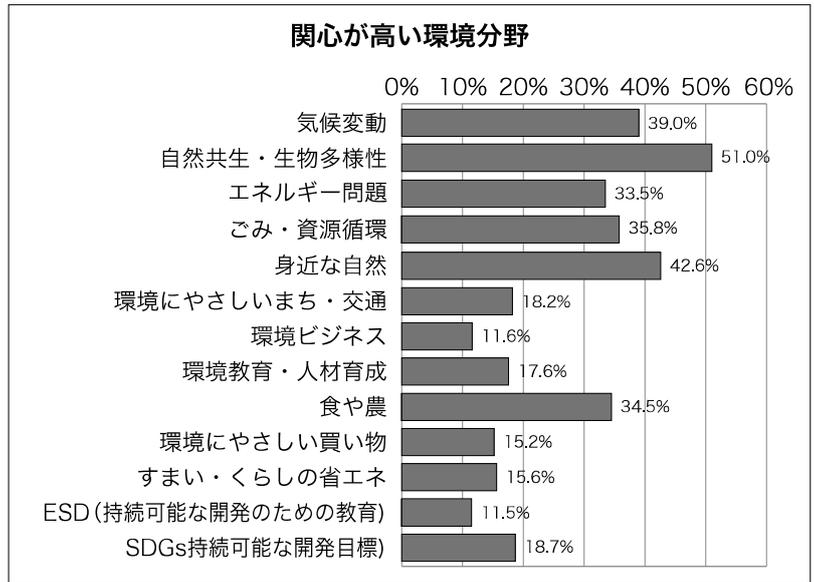
講座情報の入手については、「友人や知り合いから聞いて」という口コミが 24.4%、「なごや環境大学のガイドブックを見て」が 23.6%、「講座紹介のチラシを見て」が 15.4% と合わせて全体の 6 割を超えています。また、「ホームページ」が前年度の 12.6% から 11.6%、「メール」が 5.0% から 4.2% とそれぞれ減少しています。これは、従前からの知人からの口コミや情報量の豊富なガイドブックが、依然として講座に参加を促す強力なツールとなっていることを改めて認識させられます。一方、若い世代や新規受講者を増やすためには、ウェブコンテンツについて内容構成をより分かりやすく改善するとともに、SNS を活用してスマートフォンやタブレットなどから手軽に入手できる情報の充実などに取り組んでいく必要があります。



### ●関心が高い分野

関心が高い分野としては、「自然共生・生物多様性」が初めて5割を超え、続いて「身近な自然」、「気候変動」、「ごみ・資源循環」、「食や農」、「エネルギー問題」がいずれも3割以上を占めました。

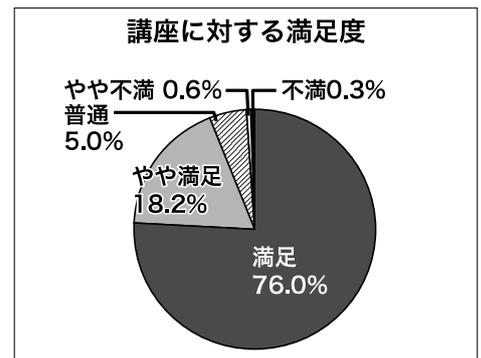
「自然共生・生物多様性」「身近な自然」等は従来から常に関心が高い傾向にあります。世界的に取り組まれている「SDGs（持続可能な開発目標）」や私たちの生活に直接結びつく「環境にやさしい買い物」「すまい・くらしの省エネ」は低い傾向にあり、関心を集める工夫が必要です。



### ●講座に対する満足度

講座に対する満足度は「満足」、「やや満足」を合わせて9割を超える高い評価をいただきました。

2023年度は、多岐にわたる講座が参加者のニーズに合致し、講座企画団体の皆様の努力や工夫が反映された結果になったものと思われます。

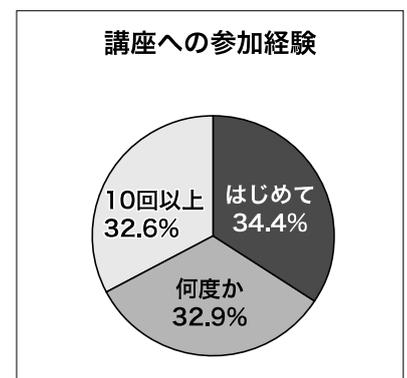


## 2. 小学生向け講座に関する集計結果

小学生の受講者 726 人に対するアンケートによると、受講者の 95.5% が名古屋市内・愛知県内でした。初めて講座に参加した子どもが 34.4% と 2022 年度より 10.7 ポイント減少、同時に「何度か」、「10 回以上」参加している子どもは合わせて 65.5% と、6 割以上がリピート参加していることが分かります。

講座の内容については、「楽しかった」と感じた子どもが全体の 97.1% と非常に高いことが特徴的です。また、「また参加したいかな?」についても、○(したい) が 92.1%、「わかりやすさ」についての評価も 3.3 ポイント上昇しており、全体として子どもの参加者が講座に非常に満足して、また参加したいと思っています。

内容について	○	△	×
楽しかったかな?	97.1%	2.6%	0.3%
わかりやすかったかな?	93.0%	7.3%	0.7%
また参加したいかな?	92.1%	6.2%	1.7%





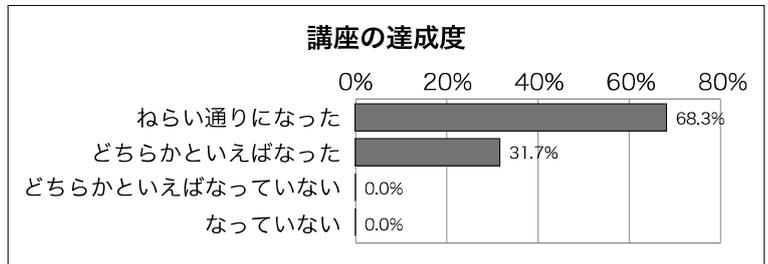
### 3. 講座主催団体に対するアンケートの集計結果

なごや環境大学の共育講座を企画運営していただいている市民団体や企業、行政などの講座企画者からもアンケートをいただいています。

#### ● 講座の達成度

講座の達成度については、企画団体の「ねらい通りになった」、「どちらかといえばなった」を合わせて100%と、すべての団体が主催者として講座全体に満足していただきました。

このような結果は、企画者の皆様の努力と参加者の意識の高さが現れているものと思われます。



#### ● 講座の運営

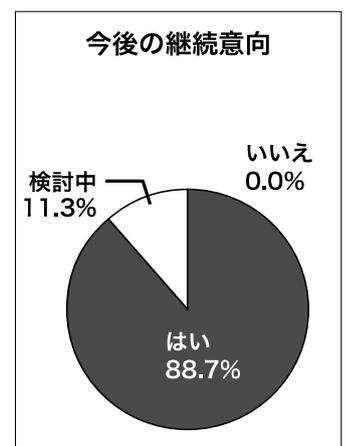
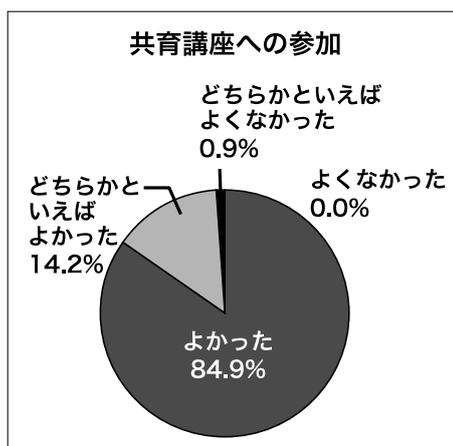
講座の運営に関して、表に示した9項目について、それぞれ4段階で自己評価していただきました。「スタッフの人数」、「講座の時間配分」、「内容」、「手法」、「会場」、「準備」の項目で「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせてほぼ9割を超えていますが、「広報」、「参加者の人数」、「収入と収支のバランス」では「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせて7割程度にとどまっています。

やや満足度の低いこの3項目は、コロナ禍を経て、参加控えや講座直前のキャンセルなど、参加者の確保に苦慮する傾向がうかがえます。今後、よりいっそう広報に力を入れるとともに、講座企画者が運営しやすくなるよう、事務局のサポートを続けていきます。

	十分	ほぼ十分だった	少し足りなかった	足りなかった
①スタッフの人数	61.0%	27.6%	8.6%	2.9%
②講座の時間配分	61.9%	30.5%	6.7%	1.0%
③内容	80.2%	17.9%	1.9%	0.0%
④手法	69.8%	29.2%	0.9%	0.0%
⑤会場	76.4%	17.9%	5.7%	0.0%
⑥準備	67.0%	31.1%	1.9%	0.0%
⑦広報	45.3%	30.2%	23.6%	0.9%
⑧参加者の人数	33.0%	32.1%	30.2%	4.7%
⑨運営にかかわる収入と収支のバランス	37.6%	43.6%	13.9%	5.0%

#### ● 講座の改善・今後の展望

共育講座という参画の仕方については、ほぼ100%の団体が「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答しており、この仕組みが重要な意義を持っていることが分かります。また、今後の継続意向についても、88.7%の団体が継続したいと回答していました。



#### ● まとめ

以上、2023年度の各種アンケート結果の集計から、なごや環境大学が、NPO・市民活動団体、企業、行政、教育機関などと協働して役割分担している共育講座の仕組みは、講座主催団体・受講者のいずれからも概ね高い評価を得ていることが分かります。しかし同時に、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、またリピーターにも継続して参加したくなるような講座の開設に取り組む必要があります。また、「自然共生・生物多様性」、「身近な自然」、「気候変動」など受講者の興味や関心の高い講座の充実を図るとともに、講座企画者が運営しやすくなるよう事務局としてのサポートを続け、なごや環境大学の企画運営を進展させていきたいと考えています。



## ● 共育講座



名古屋市内および近隣地域をキャンパスとして、『共に学び合い』『育ち合う』環境講座を「共育講座」と表現し、展開しています。講座の企画・運営は、趣旨に賛同した市民/市民団体や企業、教育機関、そして行政などが行い、企画を持ち寄り、協働で運営しています。2023年度は、117の講座を開催しました。(主催事業を除く)各講座の詳細や団体情報については、「なごや環境大学エコパートナーズ」に掲載しています。

屋外(里山や水辺)も屋内(教室や工場)も「まちじゅうがキャンパス」です。

座学、フィールドワーク、討論、ワークショップ、調査・研究など様々な講座を実施しました。

## ● 共育ゼミナール



『共育ゼミナール』は、開校以来進めてきた受講生を招く『共育講座』の発展の形として、2012年度から開始しています。「行動しやすくなるしくみづくり」の一つとして、調査・研究、社会実験、提言とりまとめなどを行っています。2023年度は、3団体が年間を通じて活動しました。

団体名	東谷山ニホンミツバチプロジェクト実行委員会
事業名	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査
活動の目的・概要	ニホンミツバチの自然繁殖条件の調査と自然繁殖による生物多様性の維持保全活動を行っています。観察や調査を通じて、身の回りにいる動植物の知識を深めることができます。
団体名	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)
事業名	日本庭園と生物多様性
活動の目的・概要	都市にとって、「健康な植生活」って何?身近な自然と、どうつきあえばイイの?…そんなギモンやモヤモヤを、スッキリさせたい!
団体名	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画
事業名	堀川最上流の自然環境を調べる!
活動の目的・概要	堀川最上流部の水辺環境とそこに生息する動植物の状況把握を目的とします。水質調査、採取した魚類、甲殻類、水生昆虫、植物、水草を対象とした調査を実施します。

# 共育講座・ゼミナール 一覧

2023年度（前期）

## 共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

## なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

## 市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。こどもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。

講座番号 B

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	16	Z-01	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山ミツバチプロジェクト実行委員会				○	○
	17	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	17	Z-03	食べて減らそう外来種 2023 (中止)	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
	18	Z-04	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画	○			○	○

① 脱炭素 (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	20	B-01	ごきそテクノカフェ ～脱炭素の実現に向けて技術者と共に考えよう～	名古屋工業大学ごきそ技術士会	○		○	○	○
	21	B-02	環境カウンセラーと行く「空港・航空機と環境～未来を見据えて～」	環境カウンセラー岡本明子				○	○
	22	B-03	温暖化で作物はどうなる？栽培装置を作って実験しよう	唐草ナレッジ	○	○			
	22	C-01	高速道路橋の長寿命化に向けての取り組みを学ぼう！	中日本高速道路株式会社 名古屋支社	○	○	○	○	○
	23	C-02	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	○	○	○		
	23	C-03	環境エネルギー塾	中部電力株式会社					○

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	24	C-10	なごやの建設屋さんとエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	○	○	○	○	○
	25	A-01	森を育む人づくり講座 in みたけ	「なごや環境大学」実行委員会	○	○	○	○	○
	26	A-02	愛岐の里山たいけん隊～春の里山にいこう！～	「なごや環境大学」実行委員会		○	○		
	26	A-03	「なごや環境大学」共育ゼミナール体験講座	「なごや環境大学」実行委員会				○	○
	27	B-04	瀬戸市洞地区の街並みの維持管理に参加してみよう。	森谷会	○	○	○	○	○
	27	B-05	石ころ探検隊 ～化石や宝石を見つけよう！～	地球倶楽部	○	○	○	○	○
	28	B-06	渥美の磯で珍しい生き物を探そう！	NPO法人環境ボランティアサークル亀の子隊	○	○	○	○	○
	28	B-07	都市公園・緑地の樹木のふしぎ巡り～この木はどうしてここで？	あいち森林インストラクター会	○	○	○	○	○
	29	B-08	のぞいてみよう！プランクトンの世界	自然観察グループ	○				
	29	B-09	山崎川の生き物観察	山崎川グリーンマップ	○	○	○	○	○
	30	B-10	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	○	○	○	○	○
	31	B-11	戸田川緑地の昆虫を調べよう	ピオトープ・ネットワーク中部	○				
	31	B-12	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
	32	B-13	もりもり自然学校・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
	32	B-14	むささびっ子の森くらぶ	NPO チームぼんどり	○				
	33	B-15	私達を取り巻く様々な環境にフォーカス 身近なところから実践しよう	eye opener	○	○	○	○	○
	33	B-16	夜の東山の森で虫たちを灯火採集！	なごやの生き物調査の会	○	○	○	○	○
	34	B-17	美味しい！楽しい！美しい！地球に優しい自然と共生する日本の暮らし	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
	35	B-18	レイチェル・カーソンの思いをつないで「センス・オブ・ワンダー」	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム	○	○	○	○	○
	35	B-19	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	36	B-20	北欧発！森の自然環境教育 × 英語 × アート	森のムッセルあいち	○				
	36	B-21	りす山の自然学校：あなたの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	37	B-22	干潟の学校 ～藤前干潟を体感しよう～	NPO法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
37	B-23	劇団シンデレラと藤前干潟を体感しよう！	劇団シンデレラ	○	○	○	○	○	
38	B-24	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					○	

**企業・事業者が企画・運営する講座**

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。

講座番号 C

**大学等が企画・運営する講座**

大学等が企画・運営する講座です。

講座番号 D

**生涯学習センター等で実施する講座**

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に応じた内容や、全体的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。

講座番号 E

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		39	B-25	みてきてかんじて！自然とあそぼうの会	NPO みのむしックス	○				
		39	B-26	こども講座「森であそぼう！」	NPO 法人 海上の森の会	○	○			
		40	B-27	ネイチャーランニング森のなか、まちの中	りとららぽ	○	○	○	○	○
		40	B-28	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
		41	B-29	「青空遊園」川に親しみ川に学ぶ！	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
		41	C-04	夏休みの自由研究!! ～蟹江町で自然観察しよう♪～	株式会社 加藤建設 自然環境課	○				
		42	C-05	なごや・近郊の森 de セルフケア	prana (プラーナ)			○	○	○
		42	C-06	山県市北部でまったり 2023 ～春・夏～	やまがたフットバス実行委員会	○	○	○	○	○
		43	C-07	田んぼ体験しよう！～昔ながらの農具を使って～	戸田川緑地管理センター	○	○	○	○	○
		44	C-08	きみもプラネタリアン！～やってみよう、プラネタリアム解説～	アクティオ株式会社 名古屋営業所		○	○		
		44	E-01	【徳川園共催】昆虫王国～命きらめく都会のオアシス～	東生涯学習センター	○				
		45	E-02	【大高緑地管理事務所共催】大高緑地の在来種を守ろう！	緑生涯学習センター	○				
		46	E-03	「なごや環境大学共催講座」歩いて自然を体感！公園・庭園の魅力	瑞穂生涯学習センター				○	○

③ 資源循環 (リサイクル問題・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		49	B-30	海洋ゴミ、海洋プラスチック問題・SDGsをゲームと活動で学ぼう	海洋ゴミ問題カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」公認ファシリテーター	○	○	○	○	○
		49	C-09	第32回環境フォーラム	株式会社エステム	○	○	○	○	○
		50	B-31	勿体ないを家庭から～編/織/染～繕い・手あみの基礎学べます(´ー´)・	手あみ生涯学習ぐるーぷ				○	○

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		52	B-32	防災と科学を通じて世界の環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	
		52	B-33	放射線・放射能のことを知り、測ってみる	未来につなげる・東海ネット市民放射能測定センター (略称：Cラボ)	○		○	○	○
		53	E-08	取り組んでみよう！エシカル消費～わたしとSDGs～	中生涯学習センター			○	○	○

⑤ まちづくり (コンパクトシティ・交通・水)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		55	A-04	「なごや環境ハンドブック」フィールドワーカーなごやの水はどこへ行くー	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	
		56	D-01	身の回りにあるSDGsについて学んでみよう	国立大学法人愛知教育大学	○	○	○	○	○
		56	E-09	水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館	○	○	○	○	○
		57	E-10	地域公共交通と環境のつながり ～未来のまちづくりを考える～	南生涯学習センター			○	○	○

⑥ 人づくり (人材育成・スキルアップ)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		58	A-05	SDGs オンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」	「なごや環境大学」実行委員会					○
		59	B-34	あなたも地球エコ防衛隊になろう！	地球エコ防衛隊	○	○	○	○	○

なごや環境大学のHP  
エコパートナーズデータベースにて各企画・運営団体の活動内容がご覧いただけます。

**共育ゼミナール**

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

**講座番号 Z**

**なごや環境大学実行委員会 主催講座**

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

**講座番号 A**

**市民・市民団体が企画・運営する講座**

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。子どもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。

**講座番号 B**

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	16	Z-01	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山ニホンミツバチプロジェクト実行委員会				○	○
	17	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
	17	Z-04	堀川最上流の自然環境を調べる！	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画	○			○	○

① 脱炭素 (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	18	C-12	木と家にまつわるエトセトラ「木の家 山の社会見学と自由時間」	木と家にまつわるエトセトラ	○	○	○	○	○
	19	B-36	ごきそテクノカフェ ～技術者と共に関心と地球の未来～	名古屋工業大学ごきそ技術士会	○		○	○	○
	20	E-12	将来のエネルギー供給はどうか？～エネルギーから考える環境問題～	港生涯学習センター	○	○	○	○	○
	20	E-13	なごや SDGs グリーンパートナーズセミナー ～SDGs と環境配慮～	名古屋市環境局脱炭素社会推進課					○
	21	E-14	地球にやさしいライフスタイルとは！？	北生涯学習センター					○
	21	E-15	名古屋の空気と気候～南極での大気観測を通して～	千種生涯学習センター	○	○	○	○	○

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	23	A-15	愛岐の里山たいげん隊～秋の里山にいこう！～	「なごや環境大学」実行委員会		○	○		
	23	B-37	「もっと木を使おう!!」セミナー&木工品制作体験	プロジェクト・ヴィーノ	○	○	○	○	○
	24	B-38	石ころ探検隊～名古屋の岩石を調べよう！～	地球倶楽部	○	○	○	○	○
	24	B-39	自然の叢智を学んで、未来はみんなで共創しよう。	めいとう SDGs 体験会			○	○	○
	25	B-40	しだみ古墳群の気候・自然環境と古墳群探訪	歴史の里マイスターの会	○	○			○
	25	B-41	削れ難く、保水力があり、歩きやすいウッドチップ散策路を作ろう	水の環グループ	○	○	○	○	○
	26	B-42	子ども講座「森であそぼう！」	NPO 法人海上の森の会	○	○			
	26	B-43	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
	27	B-44	やきものの町「瀬戸の森」で土器を作ってみよう！	公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会	○	○	○	○	○
	27	B-45	見つける 楽しむ 自然の恵み	eye opener	○	○	○	○	○
	28	B-46	エコツアー 渥美を学び、渥美を食べよう！	NPO 法人環境ボランティアサークル亀の子隊	○	○	○	○	○
	28	B-47	山崎川と周辺の野鳥を探してみよう！	山崎川グリーンマップ	○	○	○	○	○
	29	B-48	むささびっこの森くらぶ	NPO チームばんどり	○				
	29	B-49	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
	30	B-50	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					○
	31	B-52	「自然と共生する日本の生活文化」	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
	32	B-51	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑で綿をつくろう！」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	○	○	○	○	○
	32	B-53	自然のめぐみを感じて親子で作品作り	あいち森林インストラクター会	○	○	○	○	○
	33	B-54	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
	33	B-55	干潟の学校 ～藤前干潟でいるんなことしましよ！～	NPO 法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
	34	B-57	環境カウンセラーと行く『セントレアまるとウォッチング 2023』	環境カウンセラー岡本明子					○
	35	B-56	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
	35	B-58	りす山の自然学校：あなたの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
	36	B-59	劇団シンデレラと藤前干潟をきれいにしよう！	劇団シンデレラ	○	○	○	○	○
	36	B-60	みてきてい かんじて！自然とあそぼうの会	NPO みのおしックス	○				

### 企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。

講座番号 C

### 大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。

講座番号 D

### 生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、年間1講座を計画しています。区の特성에応じた内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。

講座番号 E

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	37	B-61	竹を知り「六つ目編波緑かご」を作ってみよう!	NPO 東海自然学園					○
	37	C-13	なごや・近郊の森 de セルフケア	prana (プラーナ)			○	○	○
	38	C-14	山県市北部でまったり 2023 ～秋・冬～	やまがたフットパス実行委員会	○	○	○	○	○
	38	C-15	バードウォッチングに挑戦!! ～蟹江町にやってくるカモを観察♪～	株式会社加藤建設	○				
	39	C-16	春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ピオトープ講座	東邦ガス株式会社			○		
	39	C-17	みんなで守ろう!～生きものが住み続けられる環境～	戸田建設株式会社 名古屋支店	○	○			○
	40	E-16	水源の森探検 ～おんたけ休暇村で森の健康診断と間伐&植樹を体験～	公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社	○	○	○	○	○
	40	E-17	在来種の命のために!!～外来種との関係とは!?～	名東生涯学習センター				○	○
	41	E-18	めざせ!!水の復活～学んでみよう、水のこと～	名古屋市環境局地域環境対策課水質地盤係	○	○	○	○	○
	41	E-19	実験!体験!かんきょうラボ	名古屋市環境科学調査センター			○	○	○
42	E-20	庄内川で自然を体感～生き物と共生する持続可能な都市をめざして～	西生涯学習センター			○	○	○	

③ 資源循環 (3R/ゴミ問題・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	44	B-62	エコな食材を使い切って食品ロスを減らそう!～美味しく食べてSDGsに貢献～	NPO 法人 愛知環境カウンセラー協会	○	○	○	○	○
	44	B-63	カードゲーム・ゴミ拾い・オンライン講座で見つめるゴミ問題	海洋ゴミ問題カードゲーム「CHANGE FOR THE BLUE」公認ファシリテーター	○	○	○	○	○
	45	B-65	勿体ないを家庭から～編/織/染～繕い&手あみ3技法・基礎学び	手あみ生涯学習ぐるーぷ				○	○
	46	B-64	「おかえりやさい」を知って学んで味わって楽しもう!	おかえりやさいプロジェクト	○	○	○	○	○
	46	C-18	「なごやリサイクル探検隊(環境特区昭和町を巡る旅)」	グリーンサイクル株式会社/中部リサイクル株式会社/株式会社アピツ	○	○	○	○	○
	47	E-21	農から始める SDGsらいふ♪	守山生涯学習センター					○
47	E-22	フードバンク活動で幸せに～食品ロス・貧困のない社会へ～	イーブルなごや(名古屋市女性会館)	○	○	○	○	○	

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	49	A-16	衣食住からSDGs～日本の伝統編～	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	○
	49	B-66	親子防災教室	名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク	○	○			○
	50	C-19	東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル!	東谷山フルーツパーク	○				○
	51	B-67	レイチェル・カーソンの思いを繋ぐ(私たちにできること)	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム			○	○	○
51	B-68	エコキャンパへGO!	りとららぼ	○	○	○	○	○	

⑤ まちづくり (コンパクトシティ・交通・水)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
	52	B-69	社会インフラと生活環境との調和	C E 技術の会				○	○
	53	C-20	聞いて役立つ環境と不動産の話	公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会				○	○
	53	E-23	水の歴史資料館で学ぶ 安全・安心な名古屋の水道	名古屋市上下水道局調査課 水の歴史資料館	○	○	○	○	○
	54	E-24	堀川から考える熱田の環境	熱田生涯学習センター			○	○	○
55	E-25	水の環でつむぐ、なごや	天白生涯学習センター			○	○	○	

⑥ 国際協力 (共生・多文化)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
57	B-70	外国の文化を通じて環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○		

⑦ 人材育成 (スキルアップ)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
59	B-71	あなたも地球エコ防衛隊になろう!	地球エコ防衛隊	○	○	○	○	○	

なごや環境大学のHP  
エコパートナーズデータベースにて各企画・運営団体の活動内容がご覧いただけます。



2023 年度

# 実行委員会主催事業の一覧

○野外体験 / □施設体験 / △屋内実習 / ●座学・鑑賞

## ■主催事業 ※オンラインでの参加含む

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	SDGs 普及啓発教育プログラム第2期 「持続学のすすめ」	15回	173	共催：愛知学院大学、中部大学
○△	環境情報メディア部	8回	48	
○	森を育む人づくり講座 in みたけ	8回	38	協力：NPO 法人 みたけ・500万人の木曾川水トラスト
○●	「なごや環境ハンドブック」フィールドワーク — なごやの水はどこへ行く —	4回	17	
○	「なごや環境大学」共育ゼミナール体験講座	3回	9	協力：モノサシなごや（都市の自然のモノサシ研究会）、東谷山ニホンミツバチプロジェクト実行委員会、川ナビ歩こう会 / 株式会社地域環境計画
○△	愛岐の里山たいけん隊（春） 愛岐の里山たいけん隊（秋）	2回	31	協力：岐阜県多治見市諏訪町のみなさま、 名古屋市愛岐処分場
●	SDGs オンラインセミナー 「地域の企業から学ぶ脱炭素」 ※	4回	137	
○△	片平学区ローカル SDGs プロジェクト (環境学習会同時開催イベント含む)	7回	1085	共催：片平学区連絡協議会
○●	なごや水辺・湿地サポーター養成講座—実践編—	8回	169	共催：NPO 法人なごや東山の森づくりの会
○□△●	SDGs 普及啓発教育プログラム第3期 「なごや環境大学 SDGs アソシエイト養成講座」	6回	87	共催：愛知学院大学、中部大学 協力：中部大学、三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社、ワタミ株式会社
●	SDGs 達成のための授業づくり講座	1回	18	
○△	錦2丁目 SDGsWEEKs 2023	7回	69	共催：錦二丁目エリアマネジメント（株）
△	企画者説明会・交流会	4回	92	



なごや水辺・湿地サポーター養成講座—実践編—



シンポジウム  
「くらしの中のネイチャーポジティブ」



愛岐の里山たいけん隊（春）



片平学区ローカル SDGs プロジェクト  
(全体報告会)



SDGs 普及啓発教育プログラム（修了式）



<< 脱炭素を考える >>  
基礎講座 次世代エネルギーワークショップ



講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	2023年9月開始 SDGs普及啓発教育プログラム第1期 「産官民提携講座II」(SDGs概論)	15回	180	共催：愛知学院大学、中部大学
●	環境と法	15回	1500	共催：愛知学院大学
●	ビジネスプランニング入門	3回	150	共催：愛知淑徳大学
●△	衣食住からSDGs～日本の伝統編～	3回	47	
●	第18回 持続可能な明日をめざすシンポジウム ～いのちつながる 街づくり担い手づくり～	1回	64	共催：名古屋市、名古屋商工会議所、(一社)名古屋建設業協会、東日本建設業保証(株)
●	シンポジウム「くらしの中のネイチャーポジティブ」	1回	236	
●	SDGs推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング2023	1回	16	
●	森イキ！スキルアップ講座	1回	25	協力：なごや森づくりパートナーシップ連絡会
△●	<<脱炭素を考える>> 基礎講座 次世代エネルギーワークショップ	2回	24	
●	生物多様性とサブカルチャーの世界	1回	207	
△	脱炭素ボードゲームで地球温暖化について学ぼう！	2回	42	協力：なごや環境大学 SDGs アソシエイト

## ■イベント出展、その他

講座種別	事業名	日にち	延人数	備考
△	なごやSDGsフィールドスタンプラリー	2023/8/1~31	2291	協力：なごやSDGsフィールド
○	環境デーなごや	2023/9/17	590	主催：環境デーなごや実行委員会
○	トヨタソーシャルフェス	2023/10/1	119	主催：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、中日新聞、なごや環境大学実行委員会事務局
△	名古屋市消費生活フェア	2023/11/18	170	主催：名古屋市
△	愛知淑徳大学CCCコラボメッセ	2023/12/17	57	主催：愛知淑徳大学

# 2023年度連携講座一覧

連携講座は、なごや環境大学の趣旨にご賛同いただいた企業・団体等が実施する講座・イベントです。  
2023年度は7講座が開催されました。

	開催日	講座名	実施者
1	2023年4月9日(日) ～10月22日(日)	なごや自然教室	名古屋自然観察会
2	2023年5月20日(土)	ふるさと親子自然観察会	名古屋自然観察会
3	2023年6月3日(土) ～2023年11月25日(土)	天白・もりのフォーラム事業 [天白・自然とふれあい隊！] (自然観察会・自然体験会)	天白・もりのフォーラム(事務局：天白区役所地域力推進室)
4	2023年6月4日(日)	響きあう和の宇宙 (和編鐘コンサート&二宮祐子染色展)	響きあう和の宇宙実行委員会 /地球ハグ倶楽部
5	2023年6月8日(木) ～2024年3月2日(土)	なごや森づくり体験会	名古屋市緑政土木局緑地利活用課
6	2023年7月1日(土) ～2023年9月8日(金)	第18回環境絵画コンクール	パナソニック株式会社 空質空調社 品質・環境室
7	2023年10月10日(火) ～11月7日(火)	全国スーパーマーケット環境調査2023 なごや編(環境の取組、いいところ探し)	NPO法人環境市民 NPO法人中部リサイクル運動市民の会

(実施順)

# 2023 年度 事業報告

## ◇ 2023 年度活動方針

I なごや環境大学のこれまでの多様なつながりを活かし、SDGsを進める上で、基盤となる環境分野の重要性を発信します。【第4期ビジョン重点目標 1】

### 【事業計画】

- 1 講座企画者との協働により、多くの人に参加でき、意識変革及び行動変容につながるような魅力ある講座を実施
- 2 SDGsを広く普及啓発するため、オンラインを活用したセミナーや、「なごや環境ハンドブック」を活用した講座を実施するとともに、大学での講義で活用を推進
- 3 市民／市民団体、企業、大学、行政と連携したイベント等において、効果的な情報発信を実施

### 【実施状況】

昨年度後期に開講した「SDGs 普及啓発教育プログラム」では、3大学が連携し、SDGsの普及啓発に向け、なごやの人々が目指す将来を伝える「SDGs アソシエイト」として必要な知識を身につけるとともに、SDGsを社会に伝えることのできる人材の養成を図ることを目的として実施した。

また、ネイチャーポジティブシンポジウム「くらしの中のネイチャーポジティブ～私たちの選択～」、脱炭素を考える基礎講座「次世代エネルギーワークショップ」、[生物多様性とサブカルチャーの世界]を開催し、SDGsを進めるうえで基盤となる環境分野の重要性を発信した。

#### <実施した事業>

- ・ 共育講座・ゼミナール
- ・ 共育講座のPR動画作成
- ・ 大学連携事業  
SDGs 普及啓発教育プログラム (3大学)  
→脱炭素ボードゲームで地球温暖化について学ぼう！「どうなるミライ!？」
- ・ オンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」
- ・ 「愛岐の里山たいけん隊」
- ・ ハンドブックフィールドワーク「なごやの水はどこへ行く」
- ・ SDGs人づくりプロジェクト

- ・ ガイドブック表紙コンペティション
- ・ 環境デーなごや、なごや生物多様性センターまつり、消費生活フェアへの出展
- ・ 「衣食住からSDGs」
- ・ SDGsまちづくり (錦二丁目)
- ・ 「くらしの中のネイチャーポジティブ～私たちの選択～」
- ・ 「持続可能な明日をめざすシンポジウム」(愛建協)
- ・ トヨタソーシャルフェス
- ・ 脱炭素を考える基礎講座「次世代エネルギーワークショップ」
- ・ 「生物多様性とサブカルチャーの世界」

II 新たな社会変容の時代に即した、様々な主体とのパートナーシップの中心となる、プラットフォームをつくりまします。【第4期ビジョン重点目標 2・4】

### 【事業計画】

- 1 なごや環境大学と団体及び団体同士の結びつきを深め、問題点の共有を図るとともに、ニーズを探って解決策を見出すための情報交換、交流、活動報告等の機会を提供
- 2 なごや環境大学のネットワークを生かし、市民、企業、大学、行政間の課題の共有並びに解決を図るための事業を実施
- 3 将来を担う若者を対象とし、大学連携による情報発信や、フィールドワークの手法を用いた講座等を実施
- 4 パートナーシップやコーディネートにかかる事務局機能の強化を図るための研修を実施

### 【実施状況】

企画者説明会・交流会の開催において、多くの企画者に共通の悩み・困りごとである広報について、専門家による講演会を実施した。

また、共育ゼミナール団体の減少に対応するため、共育ゼミナール体験講座を実施してゼミナール活動のPRや人材の育成に努めた。

自治体ミーティングでは、同じ課題を抱える自治体間での情報共有、意見交換を図り、ネットワークづくりを推進した。



#### <実施した事業>

- ・企画者説明会・交流会
- ・講座の審査、報告書の点検、企画者のフォロー（フレッシュ講座の見学等）
- ・共育ゼミナール体験講座
- ・環境情報メディア部
- ・SDGs 人づくりプロジェクト（再掲）
- ・大学連携事業  
SDGs 普及啓発教育プログラム（3 大学）（再掲）  
「環境と法」（愛知学院大学）  
「ビジネスプランニング入門」（愛知淑徳大学）  
「CCC コラボメッセ」（愛知淑徳大学）
- ・ハンドブックフィールドワーク「なごやの水はどこへ行く」（再掲）
- ・自治体ミーティング
- ・脱炭素を考える基礎講座「次世代エネルギーワークショップ」（再掲）
- ・事務局内部研修

### Ⅲ 時流を捉え、未来志向の共創につながる機会を作り出すような事業を展開します。【第 4 期ビジョン重点目標 3】

#### 【事業計画】

- 1 地域の資源を活用し多様なしみんの参画と協働による SDGs を推進する事業の実施
- 2 森林環境譲与税を活用し、森林を保全するための人づくりに係る各種事業を実施

#### 【実施状況】

「片平ローカル SDGs プロジェクト」において、学区

と連携し、ワークショップを通じた地域課題の掘り起こし、片平 SDGs マップの作成、SDGs マルシェの企画・開催など、学区の住民との協働作業を通じてその具体化を図り、片平版ローカル SDGs の構築と宣言を行うことを目指して取り組んだ。

#### <実施した事業>

- ・片平ローカル SDGs プロジェクト
- ・森イキ！プロジェクト  
「森を育む人づくり講座 in みたけ」  
「なごや水辺・湿地サポーター養成講座—実践編—」  
「森の手入れと安全対策」（森林文化アカデミー スキルアップ講座）
- ・「衣食住から SDGs」（再掲）

### Ⅳ なごや環境大学の社会的な価値を高め、社会から必要だと評価される活動主体となるようにします。【第 4 期ビジョン重点目標 5・6・7】

#### 【事業計画】

- 1 講座や活動の成果が見える化するとともに、多様な形態の活動を適切に評価していく仕組み作りを検討・実施し、P D C A を推進
- 2 外部資金獲得のために積極的に企画提案を行い、なごや環境大学の存在価値を対外的にアピール
- 3 上記の評価結果などに基づき、なごや環境大学の社会的価値の見える化を推進

#### 【実施状況】

講座や活動の成果の見える化や適切な評価の仕組み作り、外部資金獲得について検討した。

# 持続可能な社会づくり～SDGs 達成を目指して～

## 主催講座・事業

### SDGs 普及啓発教育プログラム (2022年9月開講分)

SDGsの普及啓発に資する人材を育成するため、なごや環境大学と愛知学院大学、中部大学の連携により、2022年9月にスタートした第1期に引き続き、今年度は、第2期、第3期のプログラムを各会場で開催しました。

2022年9月16日(金)～2023年9月30日(土)  
【会場】中部大学(第2期)、エコパルなごや(第3期)  
【共催】愛知学院大学、中部大学



#### ・第2期「持続学のすすめ」【全15回】

2023年4月7日(金)～2023年7月21日(金) 173名  
【会場】中部大学

中部大学の文理融合の総合大学の特色をいかして、国連が提唱するSDGsの「5つのP」(People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership)をテーマに掲げたプログラム構成により、SDGsがめざす包括的な課題解決能力を養成することを目的に講義を行いました。

#### ・第3期「なごや環境大学SDGsアソシエイト養成講座」【全6回】

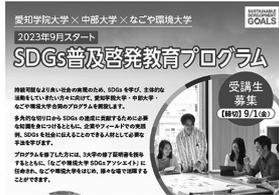
2023年7月29日(土)～2023年9月30日(土) 87名  
【会場】エコパルなごや、中部大学恵那キャンパス(研修センター)、三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社  
【協力先】三和清掃株式会社、中部有機リサイクル株式会社、ワタミ株式会社

「なごや環境大学SDGsアソシエイト」として活躍するために、なごや環境大学の取り組みやなごやを取り巻く様々なフィールドで環境に関する実地学習を行いました。また、これまで習得した知識を活かし、実践のためのプログラムづくりを通して、持続可能なより良い社会の実現に向け、社会活動や企業活動でSDGsについて発信する手法を学びました。

### SDGs 普及啓発教育プログラム (2023年9月開講分) 第1期「産官民提携講座Ⅱ」(SDGs概論)【全15回】

2023年9月22日(金)～2024年1月19日(金) 180名  
【会場】愛知学院大学 名城公園キャンパス 【共催】愛知学院大学、中部大学

昨年度に引き続き、なごや環境大学と愛知学院大学、中部大学の連携によるSDGs普及啓発教育プログラムが2023年9月からスタートしました。第1期は、「自分事」としてSDGsの推進に関わり、他者や社会を巻き込んでSDGsの達成に貢献するために必要な知識を幅広く学ぶことを目的に、外部講師と愛知学院大学の教員がオムニバス形式で講義を行いました。



### 愛岐の里山たいけん隊【春・秋】

2023年5月27日(土)・2023年11月11日(土) 31名  
【会場】愛岐処分場・諏訪町・エコパルなごや 【講師】愛岐処分場  
【協力】岐阜県多治見市諏訪町のみなさま

春には、田植え体験、たけのこ掘り、しいたけの菌打ち、秋には五平餅作り、サツマイモ・サトイモ掘り、を行いました。里山での体験や地元のもの食べ物を通じ、参加した子どもたちは季節ならではの自然の恵みを体験しました。また、愛岐処分場を見学し、自分たちの生活とごみについて考えました。



### 「なごや環境ハンドブック」フィールドワーク ―なごやの水はどこへ行く―【全4回】

2023年5月20日(土)～2023年8月26日(土) 17名  
【会場】佐久島、名古屋港～堀川、メタウォーター下水道科学館なごや、エコパルなごや  
【講師】大矢美紀氏(「あいちの海」グリーンマップ)、三矢由紀子氏(西尾市佐久島振興課)、服部宏氏(堀川1000人調査隊 事務局長)、山田智隆(名古屋環境局減量推進室)メタウォーター下水道科学館なごや職員

私たちの暮らしで使用した水は下水を通り、川から海へ流れていきます。海・川と人との関わりや、その自然の魅力、そして下水処理の仕組みを学んだ上で、私たちが水の環境を守るために何をしたら良いのかを考え、SDGsをキーワードにフィールドワークの結果を報告書としてまとめました。



### SDGs オンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」【全4回】

2023年6月2日(金)～2023年8月25日(金) 137名  
【会場】オンライン  
【講師】西尾拓哉氏(株)エネファント 営業部主任、星勇志氏(株)鏡金 代表取締役社長、田中一秀氏(三和興産(株)代表取締役)、西田宏平氏(株)TOWING 代表取締役

名古屋近郊を拠点とする地元企業の脱炭素の取組みをオンラインで紹介しました。太陽光発電、繊維産業、建設会社、農業と幅広い業種からの取組みを知る事で、脱炭素社会へ向けての理解を私たち一人一人が考えて行動していく大切さを学びました。



### 片平学区ローカルSDGsプロジェクト

名古屋市緑区の片平学区連絡協議会と協働して2022・2023年度の2ヶ年にわたり「片平学区ローカルSDGsプロジェクト」を実施しました。2022年8月の「キックオフミーティング」から、持ち寄り型マルシェ等のイベントや住民参加型のワークショップを重ね、2024年1月の「映画上映&トークセッション」で、「片平ゴールズ」を宣言しました。

【共催】片平学区連絡協議会  
【プロジェクトリーダー/メンバー】千頭聡氏(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員)/杉野友昭氏(片平学区連絡協議会 会長)、松本イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員)

#### ・みんな事ワークショップ第1回

2023年6月24日(土) 24名  
【会場】片平ふれあいセンター

#### ・なるみ祭り

2023年8月5日(土)・6日(日) 753名  
【会場】なるばーく

#### ・みんな事ワークショップ第2回

2023年8月17日(木) 15名  
【会場】片平ふれあいセンター

#### ・みんな事ワークショップ第3回

2023年10月25日(水) 20名  
【会場】片平ふれあいセンター

#### ・KATAHIRA SDGs マルシェ 2023

2023年11月23日(木) 215名  
【会場】片平ふれあいセンター

#### ・「Wendeヴェンデ2 未来へのアプローチ」映画上映&トークセッション

2024年1月27日(土) 58名  
【会場】片平ふれあいセンター  
【ゲストスピーカー】  
柴田 裕通氏(千鳥丘中学校校長)  
立花 賢修氏(片平小学校校長)  
杉山 範子氏(東海学園大学ともいき教養教育機構副機構長教育学部教授)



なごや環境大学の第4期ビジョンの柱の一つである「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」の提供を目指し、市民／市民団体、企業、教育機関、行政など多様な主体と協働して、講座やイベントを実施しました。2023年度の主催講座や事業をピックアップしてご紹介します。

## 環境情報メディア部 プロジェクト

環境情報メディア部は、若者が名古屋市の自然を巡り、その取材地をもとに環境視点から情報発信をしています。また、講座を通して若者の情報発信力の向上も目指しています。

2023年7月15日(土)～2024年3月13日(水) 48名  
 【会場】エコパルなごや、東谷山フルーツパーク、しだみ古墳群、体感!しだみ古墳群ミュージアム、白鳥庭園、熱田神宮  
 【講師】長谷川 明子氏(ピオトップ管理士会中部支部 会長・「なごや環境大学」実行委員)、  
 杉野 美氏(MI\_Project デザインプロデューサー・「なごや環境大学」実行委員)  
 【発表会協力者】講演講師:柿岡 良文氏(歴史の里マイスターの会 会長)、ゲストコメンター:深谷 里奈氏(フリーアナウンサー)



今年度は、「環境×歴史」をテーマに東谷山フルーツパーク、しだみ古墳群、白鳥庭園、熱田神宮を取材地として活動し、制作した動画の発表会を通じ、一般の市民の方に披露しました。その際、取材地ゆかりの団体からの講師の講演やゲストコメンター等により、部員の学生に対して環境視点での情報発信の在り方へのアドバイスをいただきました。部員の動画やポスターは、ウェブサイト等に掲載し、発信者・受信者がともに名古屋の環境について、より理解を深めるきっかけが作れるよう引き続き活動をしていきます。

## SDGs 人づくりプロジェクト

2020年度・2021年度に作成したSDGs学習プログラムを活用したプロジェクトを展開しました。

### ・なごやSDGs フィールドスタンプラリー

2023年8月1日(火)～2023年8月31日(木) 2,291名(景品交換者)  
 【会場】名古屋市近隣施設24か所、図書館20か所

SDGsの取り組みについて学べる施設「SDGs フィールド」と連携し、夏休みにスタンプラリーを開催しました。

### ・SDGs 学習ツールの貸出

SDGsを楽しく学べる「かるた」と「すごろく」の貸出を行いました。市内外の教育機関やNPO法人、企業等から依頼があり、授業やイベント、研修などで活用されています。

### ・SDGs 達成のための授業づくり講座

2023年8月25日(金) 18名  
 【会場】エコパルなごや  
 【講師】大鹿 聖公氏(愛知教育大学 理科教育講座 教授・「なごや環境大学」実行委員)  
 【共催】名古屋市環境学習センター

小・中・特別支援学校の先生等を対象に、SDGsの学習ツールの紹介等、SDGsの学びにつながる授業づくりのための講座を開催しました。

## 衣食住からSDGs～日本の伝統編～ [全3回]

2023年10月7日(土)～12月2日(土) 47名  
 【会場】エコパルなごや  
 【講師】山本 登美恵氏(富士凸版印刷株式会社代表取締役)、高木 幹夫氏(あいち在来種保存会代表世話人)、尾岡 良祐氏(有限会社柏瀬紙店代表取締役社長)

衣食住から日本の伝統的なテーマをピックアップし、SDGsとの関わりを講義とワークショップ形式で開催しました。ワークショップでは講師もコメンターとして関わり、参加者がSDGsの視点から、日本の伝統をつなぐため、今自分達ができることを考え、共有しました。



## シンポジウム「暮らしの中のネイチャーポジティブ～私たちの選択～」

2024年1月24日(水) 236名  
 【会場】中区役所ホール  
 【主催者挨拶】杉野みどり(「なごや環境大学」実行委員会 委員長/名古屋市副市長)  
 【登壇者】村雨辰剛氏(庭師・俳優)、渡邊加奈氏(環境省 生物多様性主流化室)、花井隆晃氏(株式会社テクノ中部)、朝日恵子氏(東山遊園株式会社)、鈴木隆博氏(イオン株式会社)、岸晃大氏(都市生物多様性国際フォーラム ユース参加者)、土屋佳弘(名古屋市環境局)  
 【コーディネーター】長谷川明子氏(「なごや環境大学」実行委員・名古屋大学大学院特任教授・大同大学客員教授・一級ピオトップ計画管理士)  
 【共催】名古屋市  
 【後援】環境省中部地方環境事務所、一般社団法人 中部経済連合会、名古屋商工会議所、2030生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)

シンポジウム前半では、生物多様性を取り巻く国内外の動向や各事業者の取り組みをお話いただき、後半ではゲストに村雨辰剛氏を迎えたトークショーとトークセッションを行いました。シンポジウムで伺ったそれぞれのお話の中には、ネイチャーポジティブへの行動のヒントが数多くあり、私たち一人ひとりができることを考える機会となりました。



## SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2023

2024年1月26日(金) 15自治体・16名  
 【会場】エコパルなごや  
 【コーディネーター】千頭 聡氏(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員)、  
 松本イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員)

持続可能な社会を目指すため、各地域での施策・事業の運用を考える機会とすると同時に、時流に沿った事例発表や話題提供を通して、課題共有や意見交換を図り、自治体間のネットワークづくりを推し進めました。今年度は、ゼロカーボンの推進と進行管理をテーマに意見交換を図りました。



## 《脱炭素を考える》基礎講座 次世代エネルギーワークショップ

2024年2月20日(火)、21日(水) 24名  
 【会場】エコパルなごや  
 【講師】鶴岡 宏成氏(「なごや環境大学」実行委員・名古屋大学 学長補佐(産官学イノベーション担当)/大学院経済学研究科 教授)、小澤 利奈氏(株式会社ウエストボックス)、加藤 文佳氏(名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授)、白木 裕斗氏(名古屋大学大学院環境学研究科 准教授)、杉山 範子氏(東海学園大学 ともいき教養教育機構 副機構長/教育学部教授)、「世界首長誓約/日本」事務局長)

2050年脱炭素社会の実現に向け、主に若手社会人を対象に、脱炭素社会の社会像や長期的な視点での事業活動のシナリオを考えることができる素養を高める講座を開催しました。専門家からのレクチャーやグループ討議等を通じて、脱炭素・エネルギーに関する考え方や動向について学び、エネルギー選択や脱炭素社会における社会像について考えました。





## 生物多様性とサブカルチャーの世界

2024年3月9日(土) 207名  
 【会場】鯉城ホール  
 【講師】五箇 公一氏(国立研究開発法人国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室)  
 【後援】環境省中部地方環境事務所

国立環境研究所ならではの最新の研究情報とサブカルチャーを結び付けながら、生物多様性についてお話いただきました。サブカルチャーという切り口でアプローチすることで、幅広い層に環境や環境問題について身近に感じ、考えてもらえる機会となりました。



## 脱炭素ボードゲームで地球温暖化について学ぼう!【全2回】

2024年3月30日(土) 42名  
 【会場】エコバルなごや

SDGs 普及啓発教育プログラムを修了した「なごや環境大学 SDGs アソシエイト」第1期生の有志が主体となり、「なごや環境大学」実行委員会と協力してワークショップを企画し開催しました。春休みの企画として小学生と保護者を対象に、地球温暖化を防ぐために家庭でできることをボードゲームで楽しく学んでもらいました。



## 森林プロジェクト

### 森を育む人づくり講座 in みたけ【全8回】

2023年5月14日(日)～2024年2月10日(土) 38名  
 【会場】岐阜県児郡高町水源の森・みたけ/私有林  
 【講師】NPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」のみなさん

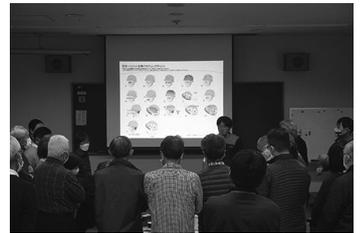
名古屋の水道水の水源でもある木曽川上流にある御高町ではかつて産廃処分場建設問題があり、その後も保全が続けられています。その水源の森で活動をするNPO法人「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」のみなさんから、間伐材を使用した炭焼きやチェーンソーでの伐木など森林の保全や整備について学び、一緒に活動することで、森林を大切にしていこうと人づくり・人の輪づくりを実施しました。



### なごや水辺・湿地サポーター養成講座 ―実践編―【全8回】

2023年7月22日(土)～2024年3月16日(土) 169名  
 【会場】天白溪湿地(東山公園南部「うらおいの森」)、今池ガスビル  
 【講師】賀元洋氏(豊橋市文化財センター学芸員)、富田 啓介氏(愛知学院大学准教授)、長谷川 泰洋氏(名古屋産業大学准教授)  
 【共催】NPO法人なごや東山の森づくりの会

2022年度に開催した「なごや水辺・湿地サポーター養成講座 基礎編」から2023年度では「実践編」を開催しました。基礎編で学んだ湿地がある森の現状や目指す状態を確認し、伐木による日当たりの確保や湿地の乾燥化を進める笹の除去、表土の剥ぎ取りによる埋土種子の露出をねらう作業を行い、有識者に今後の活動にむけてのアドバイスをもらいました。



### 森イキ! スキルアップ講座【全1回】

2024年2月4日(日) 25名  
 【会場】名古屋市緑化センター2F 講習室  
 【講師】新津 裕氏(岐阜県立森林文化アカデミー)  
 【企画協力】なごや森づくりパートナーシップ連絡会/(公財)名古屋市みどりの協会

名古屋市内の市民活動における、手のこぎりでの樹木や竹の伐採や枝打ち、雑草などの刈払いを行う中で、慣れも手伝って危険を感じる事がしばしばあります。そこで、あらためて各種工具や道具類の使用や、活動を行ううえでの安全管理について学びました。



## その他

### 企画者説明会・交流会【全4回】

2023年9月2日(土)・6日(水) 50名/2024年2月28日(水)・3月2日(土) 42名参加  
 【会場】エコバルなごや  
 【講師】広瀬 達也氏(株式会社広瀬企画 代表取締役)

「なごや環境大学」共育講座の企画者を対象に、企画者説明会に併せ、交流会を開催しました。9月の交流会では、講座運営上に必要となる「広報のコツ」について、講師を招いた講演に加え、広報に関する悩みごとの解決について、講師を交えたグループディスカッションにより、企画者の講座運営の一助としました。2、3月の交流会では、各企画者の紹介の時間をグループ内と自由交流の時間に分け、前半では、アイスブレイクを取り入れた話しやすい場づくりを行い、後半では、自由交流として各団体間のコミュニケーションの活性化を図りました。





# なごや環境大学の歩み

## 前史・第1期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：「脱レジ袋宣言」を発表 11月：第1回エコ事業所の認定 藤前干潟がラムサール条約に登録	2002年度	1月 名古屋市長年頭記者会見で構想発表 3月 基本構想検討委員会を発足
10月：レジ袋削減に向けた市内共通還元制度「エコクーびよん」を開始(～平成21年3月)	2003年度	10月 基本構想を策定・公表 3月 市民講座企画づくりワークショップを開催
 <p>プレゼンポジウム</p> 8月：リユースカップ事業を開始 広小路夏まつり会場で打ち水を実施 2月：京都議定書の発効 3月：「なごやエコキッズ」213園・「なごやスクールISO」153校を認定 「愛・地球博」開幕	2004年度	4月 実行委員会を発足 8月 2005年度共育講座公募 11月 プレシンポジウム「市民と行政の協働を考える」を開催 12月 プレ講座「環境首都をめざしたまちづくり」を開講 2月 共育講座企画運営団体(市民団体・企業)との交流を開催 「環境ハンドブック2005」を発行 3月 開講式&記念シンポジウムを開催
6月：環境デーなごや2005「もういちど!大作戦」を実施 7月：愛・地球博ささしまサテライト会場ほか市内51箇所打ち水を実施(～9月) 11月：EXPO エコマネーセンターがアスナル金山に開設	2005年度	4月 共育講座開始(2005年度88講座・476回) 7月 シンポジウム2005「環境時代と大学・地域・市民」を開催 10月 まちづくりシンポジウム「次世代につなぐ環境首都をめざして」を開催 3月 なごや環境大学平成17年度活動報告会を開催
8月：なごや循環型社会・しみん提案会議発足 1月：中区栄において都心と郊外のCO <sub>2</sub> 濃度の比較表示を開始 2月：エコマネーサテライト開設(名古屋市環境学習センター/名古屋市リサイクル推進センター) 3月：「国際市長会議—都市と生物多様性—」(ブラジル・クリチバ)出席	2006年度	4月 共育講座開始(2006年度110講座・574回) 9月 環境デーなごや「なごや環境大学のひろば」開催開始 10月 「上流・下流のつながり」を開催 2月 「地球温暖化の真実」を開催
6月：生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)誘致委員会設立 9月：なごや循環型社会・しみん提案会議「しみん提案」発表 10月：緑区にて「レジ袋有料化促進モデル事業」開始 11月：IPCC第4次評価報告書統合報告書の公表 3月：名古屋市バイオマスタウン構想を策定	2007年度	4月 なごや環境大学学生チーム「エコネクスなごや」発足 共育講座開始(2007年度133講座・616回) 10月 東山新池かいぼりプロジェクト(なごや環境学・番外編)「1021新池かいぼり大作戦」を開催(21日) 11月 なごや環境大学「第2期ビジョン」を策定 2月 環境ハンドブック改訂版「なごや環境ハンドブック」発行 3月 2008愛知環境賞「中日新聞社賞」受賞 「あいちモリコロ基金」(2008年度大規模活動)助成決定



## なごや環境大学の歩み

### 第2期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：第4次一般廃棄物処理基本計画を策定 7月：第1回「脱温暖化2050なごや戦略」策定検討会開催 9月：「第16回アジア太平洋環境会議」を開催 12月：化学繊維・人工皮革・ゴムを不燃ごみから可燃ごみへ区分変更「エコドライブマイスター認定制度」を開始 2月：『「ごみ非常事態宣言」10周年シンポジウム～ごみ減量のこれまで、これから～』開催 3月：「水の環復活2050なごや戦略」策定	2008年度	4月 共育講座開始（2008年度 138講座・567回） 5月 「しみん提案」の実現を目指す「循環型社会推進チーム」発足 9月 エコアジア2008（プレCOP10）開催記念環境シンポジウム開催 12月 エコネクスなごやが全国大学生環境活動コンテスト（エココン2008）「グランプリ・環境大臣賞」受賞 3月 「あいちモリコロ基金」（平成21年度大規模活動）助成決定
4月：レジ袋有料化全市拡大 11月：「生物多様性自治体会議2009」開催 「低炭素都市2050なごや戦略」策定 3月：「名古屋市版レッドリスト2010」公表 「生物多様性なごや戦略」策定	2009年度	4月 共育講座開始（2009年度 152講座・674回） 6月 「地方の元気再生事業」採択 8月 「藤原紀香『Smile Please!』」トークショー&写真展開催 9月 環境デーなごや「生物多様性パーク」開催 1月 「エコシティ・サミット～市民はいかに動いたか～」開催
5月：URBIO2010（都市における生物多様性とデザイン国際会議）開催 10月：「カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP-MOP5）」開催 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催 「生物多様性国際自治体会議」開催	2010年度	共育講座開始（2010年度 173講座・727回） 4月 中日新聞社共催「ビバちきゅうきょうしつ」第1回「生命を育む海」開催 5月 生物多様性連携プロジェクト発足 9月 「生物多様性屋台村 いのちの恵みを『いただきま～す』」出展 10月 「生物多様性交流フェア」出展 2月 「生物多様性あふれるまち・なごやに100人ワークショップ～COP10から始めよう～」開催 3月 「南極料理人西村淳さんによる“究極のエコライフ”」開催
 <p>交流フェアブース</p>		
4月：プラスチック製品を不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 9月：市役所などに電気自動車を導入 「なごや生物多様性センター」を設立 「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合が2014年に愛知県名古屋市で開催されることが決定	2011年度	4月 共育講座開始（2011年度 161講座・663回） 5月 地球環境学第1回公開講座「映画『THE AGE OF STUPID』上映会+トークライブ」開催 9月 環境デーなごや「つくる・育てる・楽しむプロジェクト」として衣食住をテーマとした3ブースを出展 名古屋市教育局共催「環境未来探検隊」体験活動開催 10月 「COP10 1周年記念シンポジウム～都市インフラとしての自然を考える～」開催 11月 東日本大震災を受け、防災関連講座「なごや環境学2011～リスク管理とまちづくり～」を開催 なごや環境大学「第3期ビジョン」を策定 12月 「Winter Concert 2011～宇宙からみた地球環境、森林の大切さを感じる音楽会～」開催 3月 「新しい公共支援事業基金」（2012年度活動）助成決定
 <p>なごや環境学 2011</p>		



# なごや環境大学の歩み

## 第3期・第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 7月：「名古屋市集団回収における古紙の持ち去り防止に関する条例」施行 10月：バイオディーゼル燃料化モデル事業を全市で実施	2012年度	4月 特定の環境テーマで、調査・研究・社会実験等を行う「共育ゼミナール」を開始（4団体） 共育講座・ゼミナール開始（2012年度 158 講座・601 回） 9月 環境デーなごや 2012 中央行事で名古屋市と協力し、「持続発展共育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた特別企画を開催
4月：リサイクル推進センター閉館に伴い、環境学習センターにおいて一部機能継承 1月：ESD イヤーキックオフイベント開催 2月：小型家電リサイクル開始	2013年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2013年度 143 講座・568 回） 5月 子どもたちが主役のESD ワークショップ「命が大切にされる未来を創るんだ」開催（5～11月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2013 中央行事」に参画 12月 「Winter Concert2013 ～愛と音楽は未来への懸け橋を創る～」開催
6月：「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」開催 11月：「ESD シンポジウム」開催 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催 2月：「低炭素モデル地区事業」2地区を認定	2014年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2014年度 159 講座・591 回） 5月 いのちつながるESD ワークショップ2014 開催（5～9月・全5回） 6月 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」に参画 9月 「環境デーなごや 2014 中央行事」に参画 11月 「ESD ユネスコ世界会議併催イベント」に参画 3月 10周年事業 オープンキャンパス！開催 「リソースマッチングプレゼン大会」開催
5月：第二処分場の開設 12月：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」を採択 3月：「なごや環境学習プラン」策定 第5次一般廃棄物処理基本計画策定	2015年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2015年度 154 講座・574 回） 8月 名古屋気温測定調査 2015 実施（市内 165 地点） 9月 「環境デーなごや 2015 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10周年記念コンサート with ブランタン管弦楽団「未来を創るチカラ～つながるエコひろがるハッピー～」開催 10周年記念シンポジウム「未来を創るチカラ～人とまち～」開催 「協働型環境学習のしくみづくりに関する自治体ミーティング」開催
 <p>10周年記念シンポジウム</p>	2016年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2016年度 147 講座・564 回） 6月 「みんなで歩く ワクワクなごや」開催（6～12月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2016 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づくり担い手づくり」開催 12月 「エコプロ 2016 ～環境とエネルギーの未来展～」に参画 3月 「春のオープンカフェ at テレビ塔」開催
10月：スプレー缶類の排出方法を穴あけ不要に変更 災害廃棄物処理計画策定 11月：平成28年度水銀添加廃製品回収促進業務（環境省モデル事業）を実施	2017年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2017年度 143 講座・455 回） 5月 第4期ビジョン策定 9月 「環境デーなごや 2017 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 名古屋外国語大学との連携に関する協定書締結 「ウィンターコンサート 2017 ～音楽でつながろう！みんな地球市民～」開催 1月 「みんなで防災・減災を考え行動しよう！！～持続可能な社会づくりのために～」開催 2月 3月 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催
 <p>エコプロ 2016</p>	2017年度	
10月：蛍光管・水銀体温計等の拠点回収を開始 3月：「低炭素都市なごや戦略第2次実行計画」策定	2017年度	
 <p>オープンキャンパス</p>	2017年度	



# なごや環境大学の歩み

## 第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
<p>5月：名古屋市環境学習センター「エコバルなごや」リニューアルオープン 2月：ごみ非常事態宣言から20年を記念した式典を開催</p>  <p>なごやのみらい Open Together !</p>	<p>2018年度</p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2018年度 173講座・483回) 5月 愛知学院大学との連携協定締結 9月 「環境デーなごや2018中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10月 「なごやのジレンマ!名古屋市北エリアを例に考える持続可能なまち・人・仕事?いや生活!」開催 11月 ユース主催講座「自然栽培を知ろう!~おいしいやさいはどんな味?~」開催 1月 豊かさを考えるSDGs映画会&amp;トーク開催 2月 ごみ非常事態宣言20周年記念イベント「なごやのみらい Open Together!」開催</p>
<p>7月：名古屋市が「SDGs未来都市」に選定 1月：「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレー キックオフイベント」~あいち・なごや生物多様性 EXPO~開催 3月：南陽工場を休止</p>	<p>2019年度</p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2019年度 147講座・525回) 7月 「お買い物からSDGsを知る!『環境白書から実践へ』」開催 8月 森イキ!デザインプロジェクト開始 9月 「環境デーなごや2019中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 「なごやの環境平成史」開催 (11月~2月・全4回) 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング</p>
<p>6月：富田工場、北名古屋市で工場完成 9月：ウェブサイト上で、「おうちで環境デーなごや2020」実施</p>  <p>池上先生と学ぶSDGsの現在</p>	<p>2020年度</p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2020年度 98講座・497回) 6月 SDGs未来創造クラブ まちづくり・人づくりプロジェクト開始 オンラインセミナー 生物多様性とサブカルチャーの世界 7月 環境白書から実践へ2020~SDGs17の目標その先へ!~SDGsオンラインセミナー2030年の先をみつめる人々(10~2月・全10回) 10月 森イキ!デザインプロジェクト2019年度成果発表会 in 設楽町 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2020 11月 「みちにな SDGsマルシェ」開催 12月 ウェブサイト「なごやSDGs街(マーチ)」オープン 3月 池上先生と学ぶSDGsの現在 in なごや</p>
<p>9月：第4次名古屋市環境基本計画を策定 1月：「なごや生物多様性センター 設立10周年記念シンポジウム」開催</p>	<p>2021年度</p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2021年度 122講座・446回) 企業向けSDGsオンラインセミナー「SDGs実践企業から学ぶ」始動(5~2月・全9回) 5月 森イキ!プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動(5~3月・全9回) 7月 環境白書からSDGs実践へ2021オンラインセミナー 地域が輝くローカルSDGs~参画への処方~ 10月 YouTu部(仮)始動(10~3月・全7回) 11月 「みちにな SDGsマルシェ」開催 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2021」実施 2月 「なごや環境大学SDGs未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現に向けて」実施 3月 なごや環境大学ウェブサイトリニューアルオープン 「What'sNKD?なごや環境大学表紙デザイン展」開催</p>
<p>11月：「藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念 藤前干潟ふれあいデー2022」開催 12月：「生物多様性国際自治体会議」(カナダ・モントリオール市)出席 3月：名古屋市プラスチック削減指針策定</p>	<p>2022年度</p>	<p>4月 共有講座・セミナー開始 (2022年度 139講座・465回) 渋沢栄一の夢とSDGs 開催 SDGsオンラインセミナー「消費者とともに歩く企業」始動(5~9月・全5回) 5月 森イキ!プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動(5~3月・全11回) 地球環境学2022 始動(5~9月・全5回) 8月 片平ローカルSDGsプロジェクト 始動(8月~) 9月 2022SDGs普及啓発教育プログラム 始動(9月~1月・全15回) 10月 なごやをささえる環境学 始動(10~1月・全5回) 12月 なごや水辺・湿地サポーター養成講座 一基礎編 始動(12月~3月・全4回) 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング2022」実施</p>



## なごや環境大学の歩み

### 第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
4月：市バスで燃料電池バスの運行を開始 4月：紙製容器包装と雑がみの一括収集を開始 10月：「生物多様性なごや戦略実行計画 2023」策定 10月：「なごやネイチャーポジティブ宣言」表明 3月：「名古屋市地球温暖化対策実行計画 2030」策定 3月：「名古屋市第6次一般廃棄物処理基本計画」策定	<b>2023 年度</b>	4月 共育講座・ゼミナール開始 (2023年度 146講座・494回) SDGs 普及啓発教育プログラム 始動 (4月～9月・第2期全15回、第3期全6回) 5月 森イキ！プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動 (5～2月・全8回) 6月 SDGs オンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」始動 (6～8月・全4回) 7月 「なごや水辺・湿地サポーター養成講座 ー実践編ー」始動 (7月～3月・全8回) 9月 2023 SDGs 普及啓発プログラム 始動 (9月～1月・全15回) シンポジウム「くらしの中のネイチャーポジティブ」実施 「SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2023」実施 1月 2023年度片平学区ローカル SDGs プロジェクト 全体報告会 実施 3月 「生物多様性とサブカルチャーの世界」実施 「脱炭素ボードゲームで地球温暖化について学ぼう！」実施

# なごや環境大学協力者一覧

## 市民・市民団体

eye opener

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会

あいち森林インストラクター会

特定非営利活動法人えこども

おかえりやさいプロジェクト

NPO 法人海上の森の会

海洋ゴミ問題カードゲーム  
「CHANGE FOR THE BLUE」  
公認ファシリテーター

かすがい里山自然楽校

かすがい東部丘陵自然観察会

片平学区連絡協議会

唐草ナレッジ

川ナビ歩こう会

環境カウンセラー岡本明子

NPO 法人環境市民

NPO 法人  
環境ボランティアサークル亀の子隊

特定非営利法人芸術の広場ももなも

劇団シンデレラ

CE技術の会

自然観察グループ

NPO チームばんどり

地球エコ防衛隊

地球倶楽部

地球ハグ倶楽部

手あみ生涯学習ぐるーぷ

天白・もりのフォーラム  
(名古屋市天白区役所地域力推進室)

NPO 東海自然学園

東谷山ニホンミツバチプロジェクト  
実行委員会

なごや環境塾どんぐりこころグループ

名古屋工業大学こきそ技術士会

名古屋自然観察会 (愛知県自然観察指導員  
連絡協議会名古屋支部)

名古屋なかがわ  
災害ボランティアネットワーク

なごやネイチャーゲームの会

なごやの生き物調査の会

NPO 法人なごや東山の森づくりの会

なごや森づくりパートナーシップ連絡会

公益社団法人日本技術士会中部本部登録  
倫理実践力開発普及会

公益社団法人日本山岳会東海支部・  
猿投の森づくりの会

ノートルモンド名古屋

ビオトープ・ネットワーク中部

ひこばえ社中

響きあう和の宇宙実行委員会

NPO 法人藤前干潟を守る会

プロジェクト・ヴィーノ

水の環グループ

NPO 法人

「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」

NPO みのむしックス

未来につなげる・東海ネット  
市民放射能測定センター (略称: C ラボ)

めいとう SDGs 体験会

モノサシなごや  
(都市の自然のモノサシ研究会)

森谷会

森のムッレあいち

守山リス研究会

山崎川グリーンマップ

りとらぼ

レイチェル・カーソン日本協会  
東海フォーラム

歴史の里マイスターの会

## 企業・事業者

一般社団法人愛知県建設業協会

公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会

アクティオ株式会社名古屋営業所

株式会社アビツ

株式会社エステム

株式会社加藤建設

木と家まつわるエトセトラ

株式会社熊谷組

グリーンサイクル株式会社

三和清掃株式会社

清水建設株式会社名古屋支店

株式会社地域環境計画

中部有機リサイクル株式会社

中部電力株式会社

中部リサイクル株式会社

東谷山フルーツパーク

東邦ガス株式会社

戸田川緑地管理センター

戸田建設株式会社名古屋支店

中日本高速道路株式会社名古屋支社

一般社団法人名古屋建設業協会

錦二丁目エリアマネジメント株式会社

prana

やまがたフットパス実行委員会

株式会社山田組

ワタミ株式会社

パナソニック株式会社 空質空調社

## 大学・行政・その他

愛知学院大学

愛知淑徳大学

中部大学

環境省中部地方環境事務所

多治見市諏訪町

公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社

イーブルなごや (名古屋市女性会館)

千種生涯学習センター

東生涯学習センター

北生涯学習センター

西生涯学習センター

中村生涯学習センター

中生涯学習センター

昭和生涯学習センター

瑞穂生涯学習センター

熱田生涯学習センター

中川生涯学習センター

港生涯学習センター

南生涯学習センター

守山生涯学習センター

緑生涯学習センター

名東生涯学習センター

天白生涯学習センター

名古屋市環境科学調査センター

名古屋市環境学習センター

(エコバルなごや)

名古屋市環境局脱炭素社会推進課

名古屋市環境局地域環境対策課

水質地盤係

名古屋市愛岐処分場

名古屋市上下水道局 調査課

水の歴史資料館

名古屋市緑政土木局緑地利活用課